

令和 5 年第 2 回白馬村議会定例会 総務社会委員会審査報告

本定例会において、総務社会委員会に付託された案件は、議案 5 件です。審査の概要と結果を報告します。

議案第 26 号 白馬村デイサービスセンターの指定管理者の指定について

白馬村デイサービスセンターの指定管理者の指定をするためのもの。指定管理者となる団体は社会福祉法人白馬村社会福祉協議会。指定期間は令和 5 年 10 月 1 日から令和 10 年 9 月 30 日まで。

[質疑・意見]

問 運営は社協ということだが職員から人材不足とか苦勞している話は聞いているか。

答 一番苦勞しているのは看護師の確保。岳の湯では、年間を通して看護師を確保することが難しい状況であり、週に何回か来ていただいている単発の看護師を組み合わせる必要な人員を確保している状況。

問 指定管理の応募、職員の数、建物の老朽化、修繕については。

答 この指定管理は建物や敷地に対しての管理者ということ。選定方法は基本的に非公募。社協からの申請をもとに内容を審査した。サービス自体の人材不足は聞いていない。建物については社協の中で必要な修繕はしていると思うが、修繕費として村からの支出はない。村からの支出は、光熱水費、燃料費、点検に係る指定管理料。整備してまだ 10 年くらいのためさほど大きな修繕はないと考える。

問 デイサービスセンターと健康福祉課の連携の実態は。

答 現実的に課が直接やり取りすることは基本的にはないのが現状。各事業所、その他の会議を通して課題の共有、検討を重ねている。今後、それぞれの事業所の状況の把握に努めていく。

討論はなく、採決したところ議案第 26 号は委員長を除く委員全員の賛成により可決するものと決定しました。

議案第 28 号 パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

報酬時間額を給料表から算出した時間額に改正するにあたり報酬限度額を改正したいもの。なお、今後の給料表改正を見据え、限度額は「1,500 円以内」と幅を設けて設定したいもの。公布日から施行し、令和 5 年 4 月 1 日から適用。

[質疑・意見]

問 日本語指導講師の時給アップしか改正されていないが、他の職種も適切な金額に上げたほうがよいのでは。緊急的な時にこの条例があるとすぐに対応できないのでは。

答 今回、問題になっているのが、条例が 1000 円、規則も 1000 円ということであったが、金額の根拠は月額給料表から算出することがよいことから、月額を時給換算すると 1000 円を超えることから今回の改正に至った。前歴、経験年数により格付けも変わることから幅を持たせて 1500 円としている。

討論はなく、採決したところ議案第 28 号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

議案第 29 号 白馬村税条例の一部を改正する条例について

特定小型原動機付自転車に関する改正や固定資産に係る課税免除規定の追加など、地方税法の改正に伴う村税条例の一部を改正するもの。

[質疑・意見]

問 固定資産税の課税免除が今まで無いので追加したのか。石碑のある場合、その敷地に住宅があった場合どの面積まで免除になるのか。

答 村条例で非課税に関する規定があり、その中に溶かし込んで免除を行っていたが税法上それぞれを分けて規定しているため条文を追加した。面積の関係は状況によるが、課税すべき面積しない面積に任意分筆をして計算する必要があると考える。

問 課税免除と非課税と減免の違いは。

答 法律の条文を抜粋すると、課税免除は法律上、公益上、その他の事由により、その地方公共団体にとって課税することが不適当と認められる場合に条例により課税しないことができる。「できる規定」

非課税は政策目的や税制上の理由等により税を課さないこと。

減免は天災、その他特別の事由がある場合に条例の定めるところにより税額を軽減すること。生活困窮者もこの中に入ってくる。

問 新たに電動キックボードが課税対象になるということだが、届出は来ているか。

答 交付が 7 月 1 日となるため受付はしていない。

討論はなく、採決したところ議案第 29 号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

議案第 30 号 白馬村グリーンスポーツ条例の一部を改正する条例について

グリーンスポーツ野外キャンプ場の中学生以上の使用料について、日帰り 400 円を 1000 円に、一泊 1000 円を 3000 円に改めるもの。令和 5 年 7 月 1 日施行。

〔質疑・意見〕

問 上限額は振興公社で検討された額か。この改正による売り上げの増額は。

答 振興公社で村内の様々なキャンプ場の金額を踏まえ検討してきた額。増額は振興公社から数字をいただいているので答えられない。

問 トップシーズンとオフシーズンの料金設定は。

答 価格差を検討しているということは聞いているが、今年については価格差を設けないと聞いている。

討論はなく、採決したところ議案第 30 号は委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

議案第 31 号 令和 5 年度白馬村一般会計補正予算（第 1 号）所管事項

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 2063 万 9 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を 60 億 7663 万 9 千円とするもの。

【総務課関係】

企画一般事業 309 万円の増額は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、区が負担している電気料金など、エネルギー価格高騰対策支援による増額が主なもの。

地球温暖化対策事業 66 万円の増額は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、省エネ家電等の買い替え促進、EV、FCV の買い替え促進を支援する増額が主なもの。

〔質疑・意見〕

問 行政区に一律 10 万円ずつ 30 地区に支給するとあるが、地区の会計によっては払い過ぎということにはならないか。

答 上限は 10 万円ということ。金額が満たないであろう地区もあるが、そういった地区は区民の数が少ない中で負担しているので、満額支給になるところもある。

問 行政区に補助金を出すことについてはその年度ごとの会計報告みたいなものは全地区からもらっているということか。

答 この補助金に対しては補助金交付申請書の添付書類に令和 4 年度の会計報告、監査報告、水道光熱費が払っているのがわかる勘定帳などの書類を添付するようになっている。

【健康福祉課関係】

原油価格、物価高騰緊急支援金 3355 万 3 千円の増額は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し低所得世帯支援を行う増額が主なもの。心身障害者福祉事業の 221 万 5 千円の増額は障がい者グループホーム掘削物負担金。

〔質疑・意見〕

問 障害者グループホームの掘削物撤去については、何に起因する残置物だったのか。この負担は白馬村のみか、小谷村は。この金額は何社から見積もりをとったのか。

答 掘削物については、村所有になるまでは県の所有で、その前は県外に住所があるものが所有。そこまで遡って費用負担を請求することは難しく村での負担を考える。小谷村は、6 月議会で補正を組む予定と聞いている。新たな採掘に関する負担額はない予定でいる。見積もりについては、すでに工事が始まっている状況で、その中の作業のため 1 社のみ。

意見 場所の選定をするときに、現場や土地の履歴を見るべきで村がそれを怠ったということ。

【教育委員会 子育て支援課関係】

子育て世帯生活支援特別給付金事業の 1107 万 1 千円の増額は子育て世帯生活支援特別給付金を活用し子育て世帯を支援するものが主なもの。同じくひとり親分の 20 万円の増額は子育て世帯生活支援特別給付金事務費補助金（ひとり親分）を活用したもの。

〔質疑・意見〕

ありませんでした。

各課の審査が終了し、全体を通しての討論はなく、採決したところ、議案 3 1 号委員会所管事項は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

以上、総務社会委員会の審査等についての委員長報告といたします。